

本市の歯科口腔保健に関する主な取組について（平成30年度の実績状況）

京都市口腔保健推進実施計画「歯ッピー・スマイル京都」
及び「健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン」に基づく取組

※実績は主なものを記載（平成29年度実績）

1 ライフステージごとの取組

(1) 胎児期（妊娠期）

胎：胎児期，妊：妊娠期

胎 (妊)	【成人・妊婦歯科相談】【口腔機能相談】 成人及び妊産婦の方に対して、歯科健診と歯科保健指導を行い、口腔疾患の早期発見及び各ライフステージでの健康の保持・増進を図る。	妊産婦及び18歳以上の方 各区役所・支所保健福祉センター
	実績 H29 1,007人（うち、妊産婦728人）	
胎 (妊)	【プレママ・パパ教室】 妊娠期から親の育児不安を軽減するため、育児、栄養、歯科保健等に関する講話や講習を行う。	妊婦及びその家族 各区役所・支所保健福祉センター
	実績 H29 63回（756人）	

(2) 乳幼児期，少年期

乳：乳児期，幼：幼児期，少：少年期

乳	【8か月児健診】【歯ッピーパスポート】 集団歯科保健指導の実施及びむし歯予防の記録手帳「歯ッピーパスポート」の配布により、子どもの歯と口の成長・発育やむし歯予防方法等の知識の普及啓発を図る。	8か月児 各区役所・支所保健福祉センター
	実績 配布人数（8か月児健診受診者）H29 10,470人	
幼	【1歳6か月児健康診査】 歯科健診及び個別の歯科保健指導の実施	1歳6か月児 各区役所・支所保健福祉センター
	実績 H29 10,815人	
幼	【3歳児健康診査】 歯科健診及び個別の歯科保健指導の実施	3歳3か月児 各区役所・支所保健福祉センター
	実績 H29 10,345人	
乳・幼	【乳幼児歯科相談】 子どもの歯と口の悩みを相談できる機会を設け、歯科口腔保健アプローチから育児負担の軽減と子育て支援を行う。	0歳から就学前までの乳幼児 各区役所・支所保健福祉センター
	実績 H29 545人	

乳・幼	【親子・歯ッピーサポート】 乳幼児歯科健診時に口腔所見や育児条件等から口腔保健ハイリスクの乳幼児を抽出し、乳幼児歯科相談などを活用した継続的な口腔保健指導や歯科受診勧奨等を実施する。	0 歳から就学前までの乳幼児 各区役所・支所保健福祉センター
幼	【フッ化物歯面塗布事業】 むし歯予防及びかかりつけ歯科医をもつきっかけ作りとして、フッ化物歯面塗布受診券（1 回）を配布。京都府歯科医師会の御協力により、自己負担金無料化を実施している。	2～3 歳児 指定医療機関
	実績 当該年度 3 歳児の受診票使用状況 H29 49.1%	
幼	【フッ化物洗口支援事業】 就学前の時期の集団フッ化物洗口の実施を促進するため、施設に対し、学術的・技術的支援や初期必要物品の支援を実施。	市内の保育園（所）・幼稚園、認定こども園の 4 歳児及び 5 歳児クラス
	実績 H29 年度末時点 市内のべ 36 施設	
幼	【市営保育所歯科健診及び歯みがき指導】 保育所入所中の 2～5 歳児に対して、定期歯科健診を実施。3 歳児以上には、歯科衛生士による歯みがき指導も実施。	市営保育所
幼・少	【定期歯科健診】 幼稚園～高等学校の児童・生徒に対し、定期歯科健診を実施。	市立幼稚園，小学校，中学校，小中学校，高等学校，総合支援学校
幼・少	【歯みがき巡回指導】 歯科衛生士による歯みがき指導を実施。	市立幼稚園，小学校，小中学校（前期課程），総合支援学校
少	【へき地う歯巡回指導】 へき地学校に対し、歯科衛生士による歯みがき指導を実施。	へき地小中学校
少	【フッ化物洗口推進事業】 むし歯予防対策として、全市立小学校における集団フッ化物洗口を実施。	市立小学校，小中学校（前期課程），総合支援学校（小学部）
少	【学童う歯対策事業】 むし歯の早期治療の促進のため、むし歯治療に要する経費の自己負担分を公費負担する。	市内在住の小学生

(3) 青年期・壮年期・中年期、高齢期

青：青年期，壮：壮年期，中：中年期，高：高齢期

青 高	【成人・妊婦歯科相談】【口腔機能相談】 再掲 成人及び妊産婦の方に対して，歯科健診と歯科保健指導を行い，口腔疾患の早期発見及び各ライフステージでの健康の保持・増進を図る。	妊産婦及び 18 歳以上の方 各区役所・支所保健福祉センター
	実績 H29 1,007 人(うち，妊産婦以外の相談者 279 人)	
青 高	【お口からはじめる生活習慣病予防教室(地域における健康づくり事業に含む)】 口腔内セルフチェックや講話等を通じて，お口の健康から全身の健康や生活習慣の改善を考える機会とする。	18 歳以上の方 各区役所・支所保健福祉センター
	実績 H29 17 回 (438 人)	
中 高	【歯周疾患予防健診】 節目年齢の方を対象に，歯周病に重点をおいた歯科健診や歯科保健指導を実施する。	満 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70 歳の方 指定医療機関
	実績 H29 84 人	
青 高	【歯ッピーNote】 歯周病予防や口腔機能の向上を中心とした歯と口の健康づくり情報などを掲載した啓発媒体。京都市国保被保険者への特定保健指導時や各保健福祉センターの健康相談や健康教室，イベント等で配布。	主に青年期以降の方 各区役所・支所保健福祉センター その他
青 高	充実【京都市糖尿病重症化予防地域戦略会議】 医療機関，京都府医師会等の関係団体等が協働し，オール京都での糖尿病重症化予防の事業推進を図るため，平成 30 年 3 月に設置。平成 31 年度から京都府歯科医師会や京都府薬剤師会等が加わった。	主に青年期以降の方 —
	実績 H29 1 回	
中 高	充実【口腔がん啓発事業】 口腔がんに関する知識の普及啓発を目的として，京都府歯科医師会主催「歯のひろば」での啓発などを実施。H30 年度は口腔外科医による口腔粘膜検診を実施。	主に中年期・高齢期の方 イベント，京都府歯科医師会口腔保健センター
	実績 H29 口腔がん簡易健診 76 人 (1 回)	
高	新規【75 歳お口の健診事業(後期高齢者歯科健康診査)】 市内在住の満 75 歳の方を対象に，歯科医療機関において，飲み込む力などの口腔機能の評価を含む歯科健康診査を実施し，オーラルフレイル対策等につながる保健指導や介護予防等に関する情報提供を行う。(平成 30 年 9 月～)	満 75 歳の方 市内の実施医療機関

高	【地域介護予防推進センターにおける介護予防の取組（フレイル対策含む）】 市内 12 箇所の地域介護予防推進センターにおいて、65 歳以上の方を対象に運動器機能の向上や栄養改善、口腔機能向上などのための介護予防教室（介護予防プログラム）や講演会等を実施。	65 歳以上の方
		各地域介護予防推進センター
	実績 プログラム提供回数（参加のべ人数） 運 動 H29 9,190 回（69,030 人） 栄 養 H29 223 回（ 1,319 人） 口 腔 H29 112 回（ 681 人） その他 H29 1,502 回（12,271 人） 合 計 H29 11,027 回（83,301 人）	

2 ライフステージごとの取組に加えて、各特性に応じて必要な取組

(障害者（児）・要介護高齢者をはじめとした配慮が必要な方への取組)

障：障害者（児），介：要介護高齢者等

介	【家族介護者向け医療的ケア・口腔ケア実践講習会】 在宅要介護者への医療的ケア（胃ろう管理や痰吸引など）や口腔ケア（口腔清掃や口腔機能の向上）について、専門職による講義及び実践講習会を実施。	在宅要介護者のご家族の方
		京都府医師会トレーニングセンター
介・障	【歯科保健医療サービス提供困難者普及啓発推等推進事業】 施設入所中の障害者や要介護高齢者の口腔保健の向上を図るため、①関係機関との連絡調整会議，②施設職員への普及啓発指導事業，③出張歯科健診事業 等を実施。	障害者（児）及び要介護者入所施設
		京都府歯科医師会口腔サポートセンター
介・障	【出張歯科健診】 通院の困難な障害者等の口腔疾患の早期発見や口腔保健の向上のため、歯科健診車を運行し、施設で歯科健診や相談・教育等を実施。	障害（児）者施設等に入所や通所中の方等
		障害者（児）入所・通所施設等
障	【障害者歯科診療】 歯科治療や歯科保健指導等に特別な配慮の必要な障害者等の方に対する良質な歯科治療の提供を行うため、歯科サービスセンター事業を補助する。全身麻酔や静脈内鎮静等の処置にも対応。	障害者（児）の方
		京都府歯科医師会京都歯科サービスセンター

3 すべての市民に対する共通の取組

【休日急病歯科診療所の運営】 休日等における急病患者の初期診療体制の確保を図る（京都市休日急病歯科中央診療所）。
【歯の健康教室等の補助】 市民の方を対象に、歯科健診・相談や講演会などを行い、歯科保健に関する知識の普及啓発を行う事業等に対して補助を実施。歯のひろば（歯の無料相談）、高齢者歯科保健事業、地域連携事業等。
【京都市口腔保健支援センター】 歯科口腔保健の推進に関する法律に基づき、平成25年度に口腔保健に関する関係部署や関係機関との連絡・調整を図ることを目的に市保健所保健医療課（現 健康長寿企画課）内に設置。関係部署や関係団体と連携を図りながら、各世代の既存事業の更なる充実や普及に努める。

【地域における健康づくり事業（うち、歯と口の健康）】	
保健福祉センター，大学，民間企業，商業施設，関係団体等との協同により，健康教室や健康イベント等を通じて，市民の主体的な健康づくり活動を支援。	
実績	開催回数（参加のべ人数） H29 70 回（2,690 人） ※主なテーマを「歯と口の健康」としているもの
新規【京都市 お口の体操】	
高齢期のオーラルフレイル対策や乳幼児期の口腔機能向上対策の一環として，京都市版お口の体操リーフレットを作成。各区役所・支所等でのイベントや健康教室などで配布・活用し，普及啓発に努める。	
【健康長寿のまち・京都の取組】	
次項 4 参照	

4 「健康長寿のまち・京都」の取組

【健康長寿のまち・京都いきいきポイント】
健康に関心のある方だけでなく，関心のない方にも行動変容を促すためのきっかけづくりとなる取組として，平成 28 年 8 月から開始。自分でできる毎日の運動の実施等，目標を決めて取り組む「毎日ポイント」等をためて応募すると，プレゼントが抽選でもらえる仕組みになっている。歯科相談・歯科健診は「健診ポイント」の対象となる。
【健康長寿のまち・京都いきいきアプリ】
平成 30 年 1 月から，健康づくりをはじめのきっかけとしてスマートフォンアプリケーションの運用を開始。歩数が自動で記録されたり，まち歩きを楽しみながら，京都市のキャラクター（75 種類）とアプリ上で会えたり，一緒に記念撮影ができる仕組み。
【健康長寿のまち・京都ポータルサイトにおける情報発信】
平成 28 年 8 月から，総合的な健康づくりに関する情報発信の充実を図ることを目的に開設。対象者の目的別に様々なイベントが検索できる。
【健康長寿のまち・京都いきいきフェスタ】
「健康長寿のまち・京都」の啓発イベント。「健康長寿のまち・京都市民会議」参画団体などの啓発ブースや健康づくりサポーターのステージ発表など。
【健康長寿のまち・京都いきいきアワード 2018】
市域で主体的に健康づくり活動を実践・推進している個人又は団体を表彰する「いきいきアワード」を平成 30 年 7 月に創設。
【健康長寿のまち・京都広報活動】
Leaf mini や WEB Leaf へ健康づくりに関する情報を掲載し，広報活動を実施。「歯科健診を受けましょう」をテーマに，本市歯科健診・歯科相談事業を紹介。